

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(50歳代男性)(第31週追加報告分)ありました。症状は発熱、咳嗽、下痢、肺炎で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は18例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代女性1例)ありました。症状は菌血症、胆管炎で、感染地域は国内、感染経路は以前からの保菌(腸内)です。本年の累積報告数は22例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)ありました。症状は発熱、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は51例となりました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状は初期硬結(性器)、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は43例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- ・ 百日咳の報告が6例(10歳未満男性3例、女性2例及び40歳代女性1例)(第31週追加報告分2例含む)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は82例となりました。

- ・ 播種性クリプトコックス症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱、真菌血症です。本年初めての報告例です。平成26年9月19日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降、京都市では6例目の報告となっています。届出基準等の詳細については、下記のホームページを御参照ください。

○厚生労働省「感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-3.html>

- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.33となり、前週の0.91に比べて増加しました。第28週から4週連続で報告数が増加しています。

◆ 今週のトピックス:<百日咳>

京都市の百日咳は第32週に4例の報告があり、本年の累積報告数は82例となりました。全国では10,446例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 187例(肺結核 80例, その他結核47例, 潜在性結核感染者 60例)うち喀痰塗抹陽性 38例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 18例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 22例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 51例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 43例】
- ・ 五類:播種性クリプトコックス症1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:百日咳 6例【1月以降の累積報告数 82例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.14	10
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.74	118
	② 手足口病	1.56	67
	③ RSウイルス感染症	1.33	57
	④ 伝染性紅斑	1.07	46
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.77	33
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

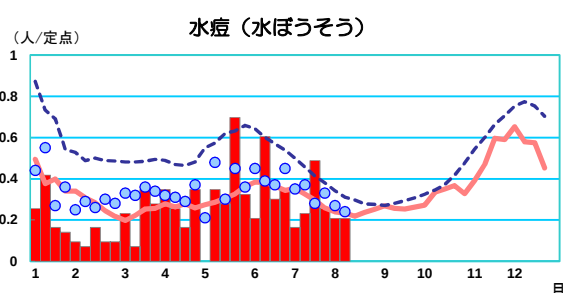
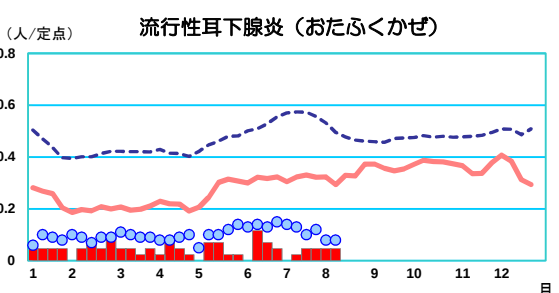
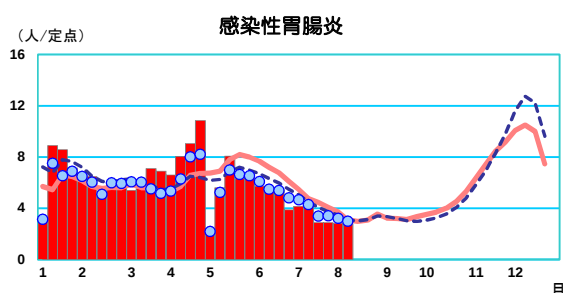
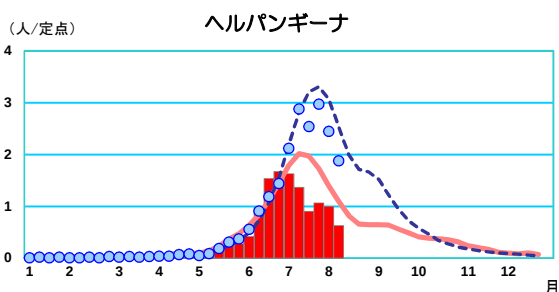
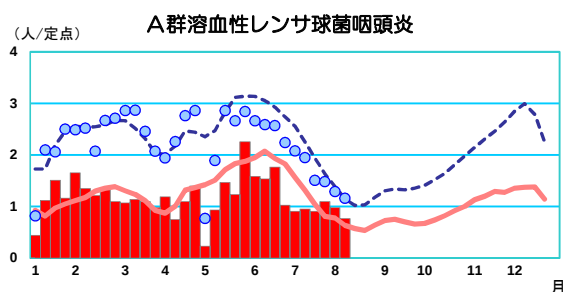
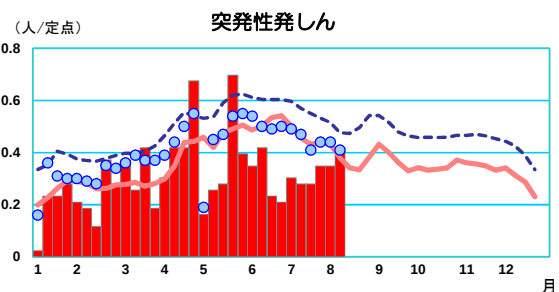
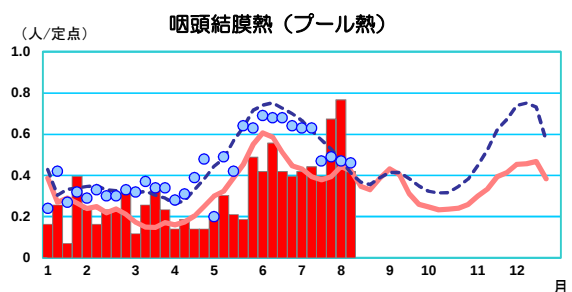
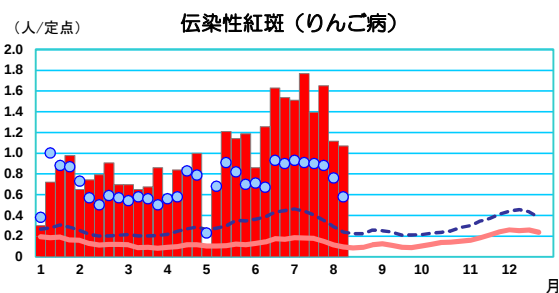
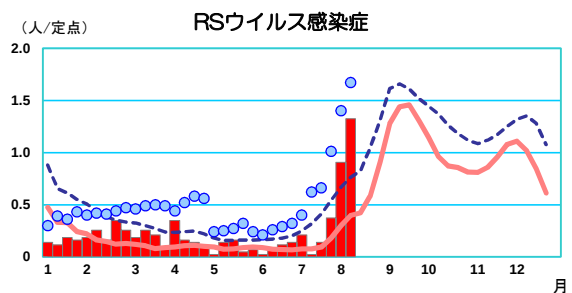
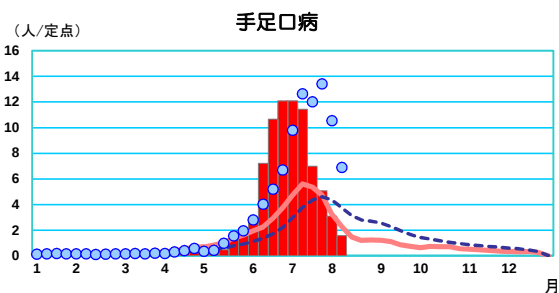
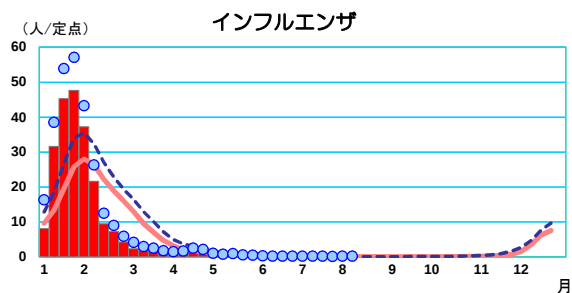
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<百日咳>

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年8月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第32週(8月5日～8月11日)トピックス:＜百日咳＞

京都市の百日咳は第32週に4例の報告があり、本年の累積報告数は82例となりました。全国では10,446例となっています(図1)。小児科定点把握疾患から全数把握疾患に変更された2018年の全国の累積報告数は11,947例でした。10,000例を超えた週を比較すると、2018年が47週に対し本年は31週と16週早くなっています。

百日咳の臨床症状は、5～10日の潜伏期の後、かぜ様症状で始まり、次第に咳が激しくなり、百日咳特有の顔を真っ赤にしてコンコンと激しく発作性に咳込み(スタッカート)、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作(ウープ)となります。特に新生児や乳児早期では重症になり、まれに致死性的となります。全数把握疾患となった2018年からの百日咳の届出基準は、①臨床的特徴と検査所見が一致した確定例と②検査確定例の患者と接触があり臨床的特徴を有する者とされ、従来の届出基準より報告の特異度が高くなり、15歳以上の患者の把握も可能となりました。

実際に2018年2～7月に集団発生をした宮崎県の例では、流行の中心である10歳～13歳の学童から乳幼児・成人へと感染が拡大した経緯が把握されました。発症した多くの学童は、百日咳含有ワクチン接種歴があり、学童期後半にはワクチンによる免疫防御効果が減衰した可能性が示唆されることから、ワクチンの追加接種の検討を提言されています。(IASR Vol.40 p12-13:2019年1月号)

京都市の全数報告移行後の全患者(2018年第1週～2019年第32週報告分)について、年齢構成別に感染源(図2)とワクチン接種歴(図3)を集計しました。患者の中心は5歳～9歳代で、学校・保育園を感染源とする患者の割合が年代別で最も多く約22%でした。また、ワクチン接種歴は20歳代以上と20歳未満できれいに分かれ、19歳以下で接種歴有が90%を越えますが、20歳代以上では12%以下となり、不明が約88%を占めました。

0歳児に注目すると、92%が家族内感染で、月齢4ヶ月以上の3例はワクチン接種済みでしたが、月齢3ヶ月以下の患者10例は未接種または不明でした。米国等では妊婦へのワクチン接種が出生児の百日咳発症率の低減に有効との報告がされています。日本での妊婦へのワクチン接種は課題も多く、その有効性と安全性の根拠を示すためにも全数把握によるデータの蓄積が重要といえます。

図1 京都市と全国の百日咳累積報告数の推移

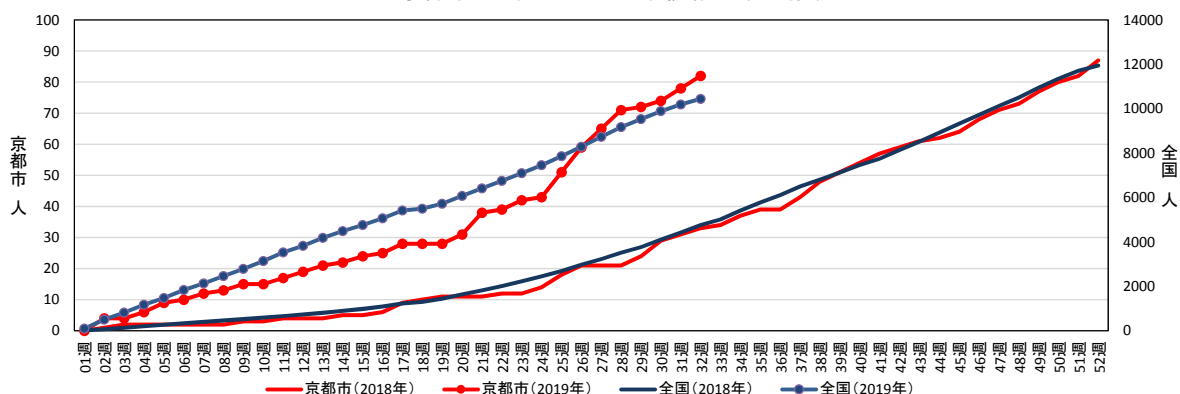


図2 京都市患者の年齢構成別感染源(2018～2019.32w)

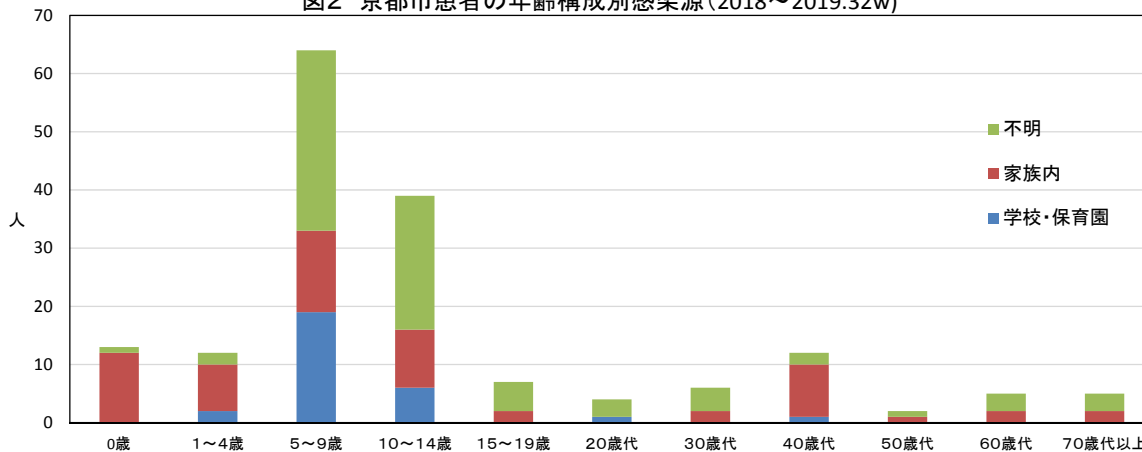
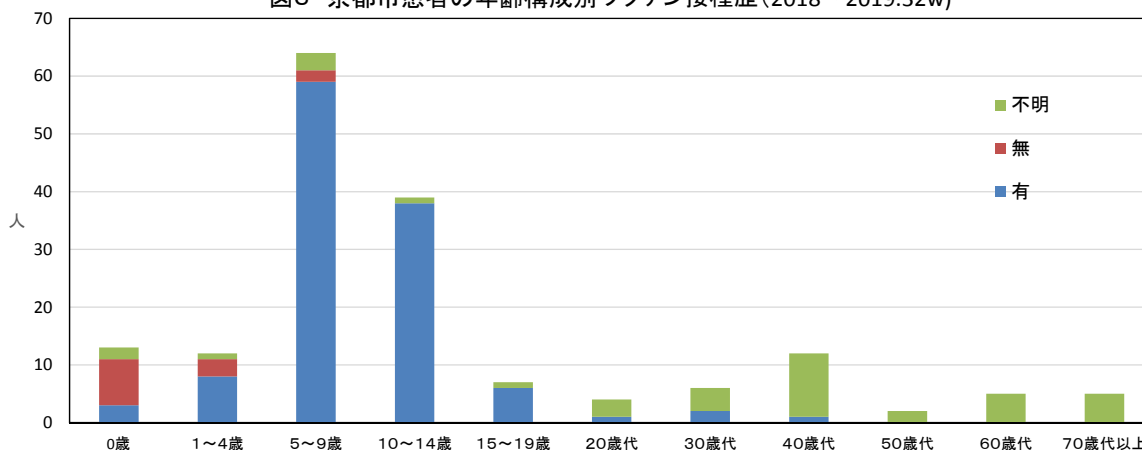


図3 京都市患者の年齢構成別ワクチン接種歴(2018～2019.32w)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第32週

疾病,行政区別報告数

2019年8月5日～2019年8月11日

データ入手日:2019年8月14日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	2	2	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	2					
上京	-	4	1	1	3	-	2	-	-	1	-	-	-					
左京	1	1	2	4	10	1	7	13	2	-	-	-	-					
中京	1	5	-	-	3	-	5	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	11	-	-	8	-	-	-	-	1	-							
山科	-	-	-	1	-	-	6	3	-	-	-	-	1					
下京	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-							
南	-	2	2	-	3	1	4	10	1	9	-							
右京	-	6	7	18	24	2	7	7	5	3	-	-	-					
伏見	-	24	3	8	47	3	33	9	8	6	-	-	-					
西京	-	2	3	1	20	1	2	2	1	4	2	-	-					
京都市計	10	57	18	33	118	9	67	46	18	27	2	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	0.29	0.50	-	-	-	0.25	0.25	-	0.25	-	-	-	2.00					
上京	-	1.33	0.33	0.33	1.00	-	0.67	-	-	0.33	-	-	-					
左京	0.14	0.25	0.50	1.00	2.50	0.25	1.75	3.25	0.50	-	-	-	-					
中京	0.20	1.67	-	-	1.00	-	1.67	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	5.50	-	-	4.00	-	-	-	-	0.50	-							
山科	-	-	-	0.20	-	-	1.20	0.60	-	-	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-							
南	-	0.67	0.67	-	1.00	0.33	1.33	3.33	0.33	3.00	-							
右京	-	1.20	1.40	3.60	4.80	0.40	1.40	1.40	1.00	0.60	-	-	-					
伏見	-	3.43	0.43	1.14	6.71	0.43	4.71	1.29	1.14	0.86	-	-	-					
西京	-	0.40	0.60	0.20	4.00	0.20	0.40	0.40	0.20	0.80	0.40	-	-					
京都市計	0.14	1.33	0.42	0.77	2.74	0.21	1.56	1.07	0.42	0.63	0.05	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第32週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年8月5日～2019年8月11日

データ入手日:2019年8月14日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	10	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	3	2	1	1	－	1	－
インフルエンザ（※1）	年齢1	57	4	13	22	14	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	18	－	－	3	4	3	3	3	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
咽頭結膜熱		33	－	1	2	3	4	7	5	2	3	2	－	1	－	3	－	－	－	－	－	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		118	1	16	17	12	11	14	7	4	5	2	3	12	2	12	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎		9	－	－	1	－	2	2	1	－	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－	
水痘		67	2	8	22	12	6	6	3	3	1	－	－	3	－	1	－	－	－	－	－	
手足口病		46	－	2	1	3	9	11	3	8	4	2	1	－	－	2	－	－	－	－	－	
伝染性紅斑		18	－	7	9	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
突発性発しん		27	1	4	6	3	5	2	1	1	1	1	－	1	－	1	－	－	－	－	－	
ヘルパンギーナ		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性耳下腺炎		年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
急性出血性結膜炎	3		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	－		
流行性角結膜炎	年齢4	細菌性髄膜炎（※2）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎（※3）		－	クラミジア肺炎（※3）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳	5歳	10歳	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.14	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.04	0.03	0.01	0.01	-	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.33	0.09	0.30	0.51	0.33	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.42	-	-	0.07	0.09	0.07	0.07	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.77	-	0.02	0.05	0.07	0.09	0.16	0.12	0.05	0.07	0.05	-	0.02	-	0.07						
感染性胃腸炎		2.74	0.02	0.37	0.40	0.28	0.26	0.33	0.16	0.09	0.12	0.05	0.07	0.28	0.05	0.28						
水痘		0.21	-	-	0.02	-	0.05	0.05	0.02	-	-	0.02	-	0.05	-	-						
手足口病		1.56	0.05	0.19	0.51	0.28	0.14	0.14	0.07	0.07	0.02	-	-	0.07	-	0.02						
伝染性紅斑		1.07	-	0.05	0.02	0.07	0.21	0.26	0.07	0.19	0.09	0.05	0.02	-	-	0.05						
突発性発しん		0.42	-	0.16	0.21	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.63	0.02	0.09	0.14	0.07	0.12	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02						
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-					
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第32週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年8月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	6	3	6	8	12	10
RSウイルス感染症	9	1	6	16	39	57
咽頭結膜熱	18	19	17	29	33	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	41	39	47	42	33
感染性胃腸炎	179	182	124	124	122	118
水痘	7	10	21	11	9	9
手足口病	520	492	301	218	133	67
伝染性紅斑	65	76	60	71	48	46
突発性発しん	13	12	12	15	15	18
ヘルパンギーナ	70	59	39	46	43	27
流行性耳下腺炎	-	1	2	2	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	6	-	6	7	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	929	902	627	593	505	408

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.09	0.04	0.09	0.12	0.17	0.14
RSウイルス感染症	0.21	0.02	0.14	0.37	0.91	1.33
咽頭結膜熱	0.42	0.44	0.40	0.67	0.77	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.95	0.91	1.09	0.98	0.77
感染性胃腸炎	4.16	4.23	2.88	2.88	2.84	2.74
水痘	0.16	0.23	0.49	0.26	0.21	0.21
手足口病	12.09	11.44	7.00	5.07	3.09	1.56
伝染性紅斑	1.51	1.77	1.40	1.65	1.12	1.07
突発性発しん	0.30	0.28	0.28	0.35	0.35	0.42
ヘルパンギーナ	1.63	1.37	0.91	1.07	1.00	0.63
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.60	-	0.60	0.70	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	21.78	21.41	14.53	14.18	12.18	9.63

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。